



自然・人・地域が
つながる
ふるさとづくり

第59号

発行/平成31年3月27日
長野県木曾広域連合

老人ホーム木曾寮移転改築基本構想を策定しました

老人ホーム木曾寮は、2024年4月の新施設開所に向けた取り組みを進めています。

今年度は「建設検討委員会」及び「管理・運営検討委員会」の2つの検討委員会を発足させ、建設の実現に向けて協議を重ねてきました。このたび3月12日の木曾広域連合正副連合長会議において建設計画の大枠である「基本構想」が決定となりましたので、下記のとおり概要をお知らせします。

基本構想とは

新施設建設の実現に向けて ①建設方針 ②規模 ③場所 ④運営体制 ⑤財源計画 ⑥スケジュール をまとめたものです。

それぞれの内容は建設計画の大枠を示し、更に詳細な計画になる「基本計画」につながっていく前提となる計画です。

木曾寮移転改築に関する基本構想の概要

1. 建設方針

老人ホーム木曾寮の移転改築においては、安心・安全でかつ利便性も確保できる建設場所を選定し、新施設は入所者にやさしい環境とともに入所者ニーズに対応し、プライバシーに配慮した生活支援および養護環境を整えます。

また、施設運営においても機能性・効率性を重視した業務が行える環境を整備します。

入所者にとって生活する場、いわゆる「家」としての位置づけとともに「木曾らしさ」が実感できる施設とします。

2. 新施設の規模について

入所定員数：長期55床、短期5床

施設延床面積：約3,000㎡

3. 建設場所について

上松町荻原1460番地（障がい者支援施設上松荘の北側隣接地付近）

4. 建設後の施設運営について

新施設の管理運営を代行させる指定管理者制度を導入することとする。



今後の予定について

今年度策定した「基本構想」を基に次年度はより詳細な「基本計画」の策定へ展開していきます。

お問い合わせ先：老人ホーム木曾寮 電話 52-2054までお願いします。

CONTENTS

木曾広域連合議会だより 2
平成31年度当初予算の内訳 3

木曾広域ケーブルテレビ全線光化事業のお知らせ 4~5
スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベの出し方について 6
消防本部からのお知らせ 6

木曾広域連合議会だより

平成31年木曾広域連合議会第1回定例会

開催日:平成31年2月27日(水)

条例の改正4件、補正予算2件、新年度予算2件、その他2件が提出され、原案どおり可決されました。

▼議案第1号	火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正
▼議案第2号	木曾広域連合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
▼議案第3号	木曾文化公園条例の一部改正
▼議案第4号	木曾地域高度情報化施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正
▼議案第5号	木曾広域連合旧南部クリーンセンター可燃ごみ処理施設解体基金条例の廃止
▼議案第6号	平成30年度木曾広域連合一般会計補正予算(第4号)
▼議案第7号	平成30年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第4号)
▼議案第8号	工事請負契約の変更について
▼議案第9号	平成31年度木曾広域連合一般会計予算
▼議案第10号	平成31年度木曾広域連合介護保険特別会計予算
▼ほか	・一般質問2件・全員協議会5件(し尿浄化槽収集の現状、CATV光化(FHHT化)補助金状況、木曾寮建設検討委員会からの提言、木曾観光地域づくり戦略プロジェクト、木曾広域連合財務諸表)

一般質問の概要

「森林林業事業について」

質問(Q): 棚本力議員

答弁(A): 原久仁男連合長、上原典通地域振興課長

Q: 人材育成の拠点となる林業大学校グレードアップについて、木曾郡として今後どのように取り組むのか。

A: 短期大学への格上げ、現施設のグレードアップ化を木曾として県に強く要請していく。

Q: 愛知中部水道企業団の協力により森林整備が進められているが、今年度の実績見込はどうか。

A: 3月までには間伐等で500ha前後となる見込み。

Q: 森林整備事業の運用方法など、今後について協議されたことはあるか。

A: 木曾川沿いの支障木伐採等の景観整備を対象事業に加えるよう要請している。

Q: 森林環境譲与税の下流域自治体への活用方法をどう考えるのか。

A: 下流域の公共施設や住宅建設の建材活用、小中学校の机・椅子等の購入などを提案していく。

Q: 森林経営管理制度について、広域としてどのような体制支援をしていくのか。

A: 県、町村、広域連合で組織された検討会議で町村とともに対応を協議していく。



「木曾観光地域づくりについて」

質問(Q): 松井淳一議員

答弁(A): 原久仁男連合長、上原典通地域振興課長

Q: 戦略プロジェクトのゴールをどのように描いているか。

A: 経済効果を地域全体に波及させていく仕組みを構築していくことが必要と考える。

Q: 県や町村にDMOが立ち上がっているがどう連携させていくのか。

A: 町村や観光協会、関係団体などと協議をしながら組織づくりを支援していく。

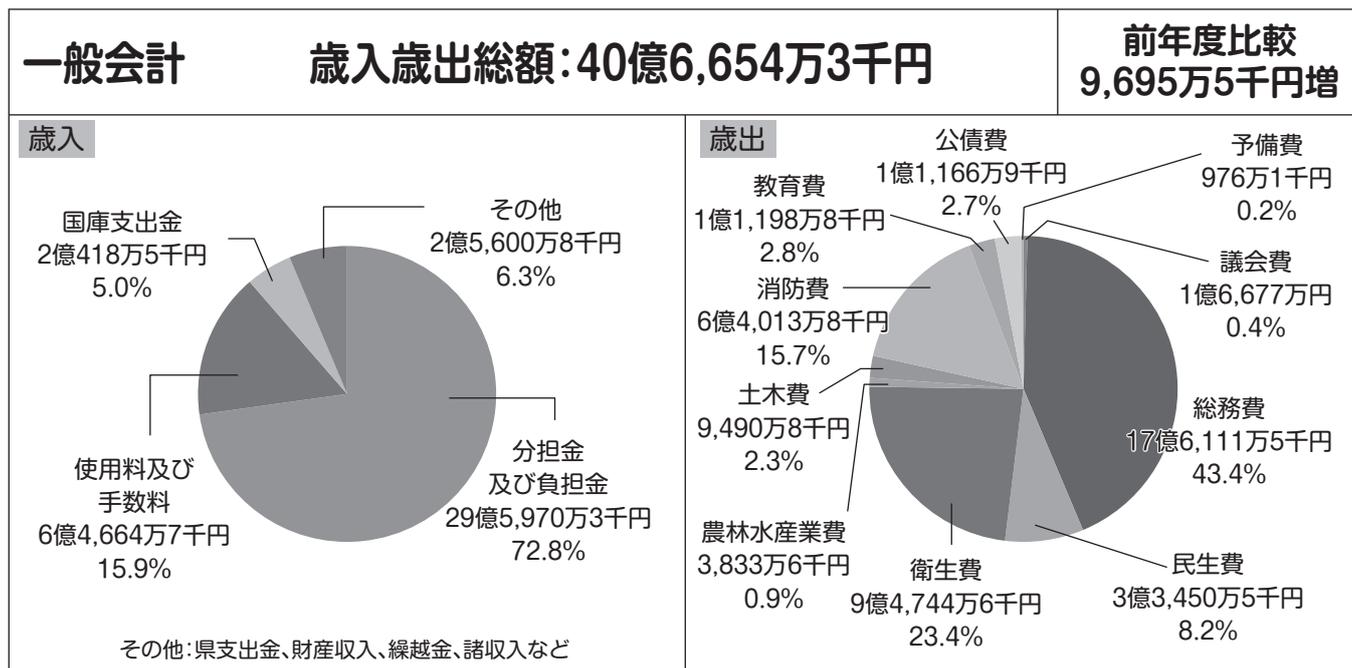
Q: 地域力を上げるために早めに動く必要があると考えるが。

A: スピード感を持って取り組んでいきたい。



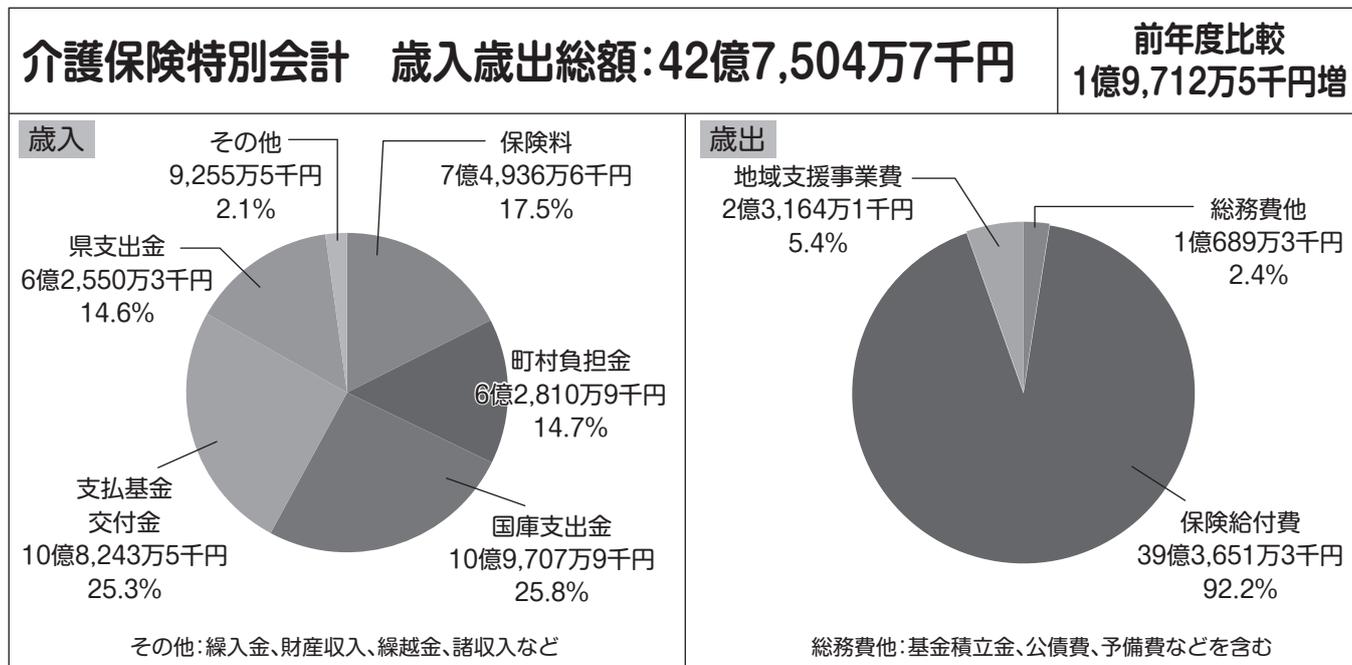
※一般質問の内容については木曾広域連合ホームページ
(www.kisoji.com/kisokoiki/)にも掲載しています。

平成31年度当初予算の内訳 2月議会で可決されました。



主な事業内容

CATV管理等	4億1,229万9千円	ごみ処理施設運営	4億7,737万5千円	緑聖苑管理	3,950万2千円
CATV光化促進事業	11億4,615万2千円	し尿処理施設等運営	3億5,400万3千円	文化公園運営	1億751万9千円
広域消防運営	6億4,013万8千円	老人ホーム運営	2億8,578万2千円		



主な事業内容

介護認定事業費	2,463万6千円	地域支援事業費(介護予防)	7,237万6千円
介護サービス等諸費	36億7,666万8千円	地域支援事業費(包括的支援)	1億5,914万1千円
介護予防・高額介護・特別入所者等諸費	2億5,641万3千円		

木曾広域ケーブルテレビ全線光化事業のお知らせ

木曾広域ケーブルテレビでは、幹線に用いている同軸ケーブルの今後の供給に支障をきたす状況に鑑み、全線を光ファイバーケーブルに更新し、さらに、現在利用しているテレビやインターネットサービスをより利便性の高いものにするため、平成30年度より改良工事を実施しております。

工事の実施時期や概要についてお知らせします。

1 光化工事の実施時期

時 期	地 域
現在工事を行っている地域	木祖村(藪原)、王滝村、大桑村
2019年度	木曾町日義、上松町、木祖村(菅、小木曾)
2020年度	木曾町福島、南木曾町
2021年度	木曾町開田高原、木曾町三岳

2 光化工事の概要

項 目	現 状
伝送路工事	幹線ケーブルを全て光ファイバーにする工事で、最終的に、旧同軸ケーブルは撤去します。 ※道路上で高所作業車等による作業を実施いたしますので、通行等大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。
引込工事	各世帯宅に光ケーブル及び光装置(VONU)を取り付ける工事です。 現在のテレビ保安器の位置に概ね取り付ける予定です。 ※事前に電話連絡をし、日程の調整をします。 「立ち合い」をお願いします。 ※この工事費用は一切かかりません。
宅内工事	引込工事終了後、以下の宅内基本工事を実施します。 1 宅内への光ケーブル入線 2 光終端装置DONU取付 3 テレビ配線接続 ネット接続 4 電話機、音声告知放送端末接続 ※上記基本工事費用は一切かかりません。 ※BS2K・4K・8K対応のテレビ接続機器費用、インターネット接続機器費用等、上記基本工事費以外については個人負担となります。

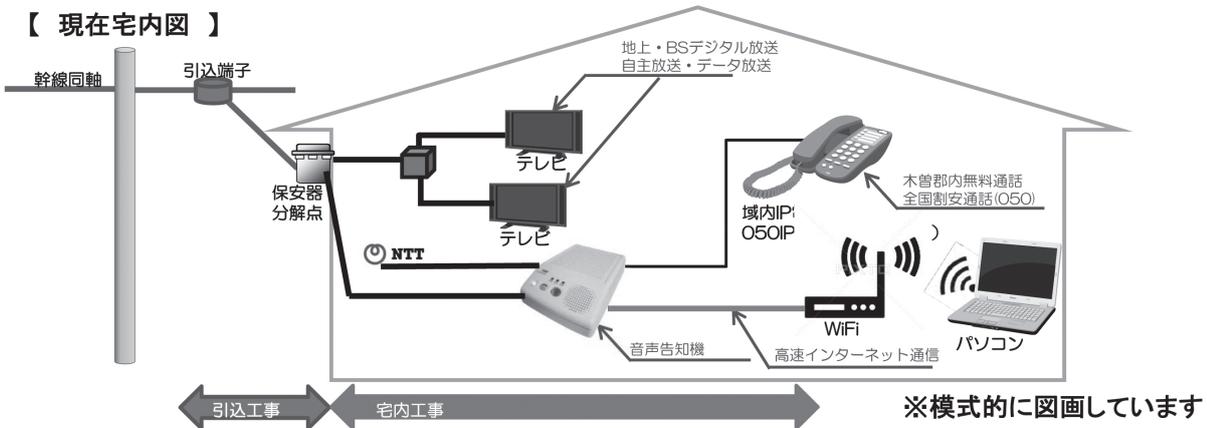
3 光化になって変わること

項目	現 状
BS放送の視聴	光化宅内工事完了後、自宅のBSチューナーでBS放送が視聴可能になります。BS放送を「視聴する」「視聴しない」により視聴制御をします。宅内工事の際に伺いますので、ご検討をお願いします。 ※BS放送には衛星視聴契約が発生します。 ※BS放送はBS2K・4K・8Kを放送しております。
インターネット	光化宅内工事完了後は1メガ、15メガ、30メガに加え、300メガ、1ギガをご利用できるようになります。
音声告知端末装置	役場などからの放送が流れている音声告知放送端末装置を交換いたします。 ※この交換工事費用は一切かかりません。

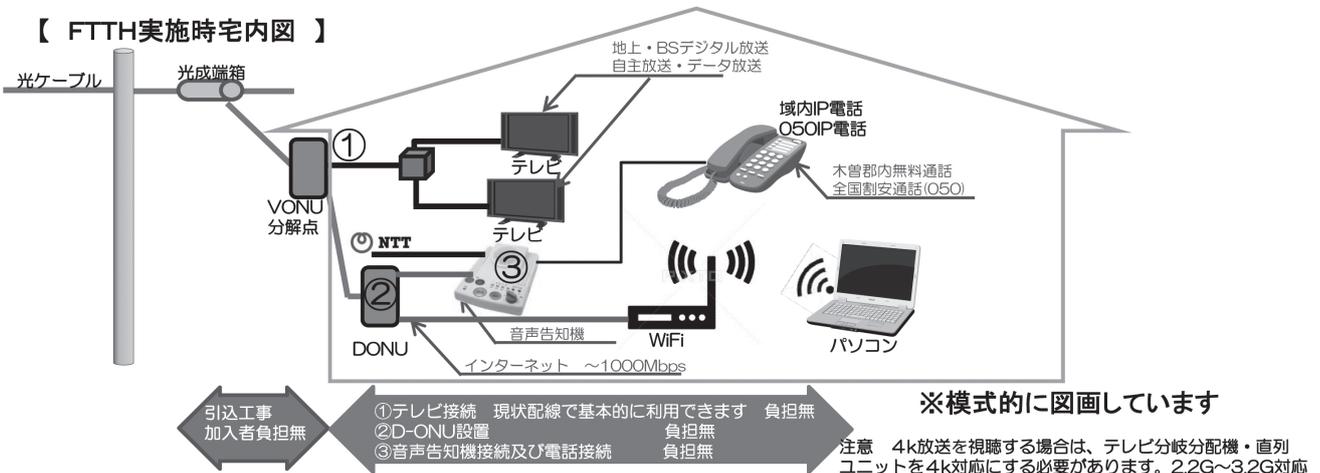
4 宅内工事概要図

宅内図

【 現在宅内図 】



【 FTTH実施時宅内図 】



お問い合わせ先:木曾広域情報センター 電話 21-2212までお願いします。

スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベの出し方について

燃えないごみの中に、中身が残ったスプレー缶・カセットボンベが混ざっていると、ごみ収集車やごみ処理施設の火災や爆発事故の原因となり大変危険です。次のルールを守って適切な処理にご協力ください。



- ① スプレー缶・カセットボンベは、**中身を使い切ってから穴をあけてください。**
使い切れない場合は、中身を出してください。
- ② スプレー缶に中身の出し方が記載されている場合は、それに従い処理をしてください。
スプレー缶には、残ったガスを出し切るための「ガス抜きキャップ」がついているものもあります。また、ガス抜き器具はホームセンターなどで販売されています。
- ③ 中身を出す時は、**必ず火の気のない、風通しの良い屋外で行ってください。**



ガス抜きキャップの例

【処理後の出し方】

- ・中身が空になったスプレー缶・カセットボンベは、「金物の日」に出してください。
- ・中身が入っているものは引き取りません。
- ・スプレー缶の中身の出し方については、**(社)日本エアゾール協会のホームページ**に詳しく掲載されていますのでご覧ください。



手で握るタイプの例



缶抜きタイプの例

お問い合わせ先:木曾クリーンセンター 電話 24-3131までお願いします。

消防本部からのお知らせ

地震体験訓練を実施しました

2月21日(木)地震体験車を使用した地震体験訓練を木祖村立とちのみ保育園で実施しました。約60名の園児に実際の地震を想定した揺れを体験していただきました。「この揺れなら大丈夫!」「大きな揺れが怖かった。」などの、感想が寄せられました。地震発生時の行動を学ぶいい体験ができたのではないかと感じます。

地震体験車は県が所有しており、年間の貸出計画に従って、県内各地域及び13消防本部(局)を順番に回って活用されています。本年度、木曾広域消防本部には2月7日から2月23日まで貸し出され、事業所や学校・保育園等、8団体・約500名の方に地震を想定した揺れを体験していただきました。

また、2019年度は9月22日から10月7日まで木曾広域消防本部に貸し出される予定となっていますので、是非この機会に体験してみたいかがでしょうか。



文化財防火デー

木曾消防署南分署が管轄する南木曾町には、日本初の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定された中山道妻籠宿があります。宿場内には国重要文化財に指定されている建築物があるため、毎年1月26日の文化財防火デーには、住民による消防訓練が実施されています。今年の訓練では「妻籠を愛する会」の会員約50人が参加し、初期消火や、消火栓の取扱いの訓練が実施されました。木造の建物火災の危険性と火災予防の大切さを再確認し、住民の方々の「自分たちで宿場を守る」という意気込みを感じる訓練となりました。



■本誌に関するお問い合わせは木曾広域連合まで

【木曾広域連合構成団体:木曾町/上松町/南木曾町/木祖村/王滝村/大桑村】

〒399-6101 長野県木曾郡木曾町日義4898-37 TEL.0264-23-1050 FAX.0264-23-1052

ホームページ <http://www.kisoji.com/kisokoiki/> E-mail soumu@kisoji.com